

組合設立:1946年 組合本部所在地:〒921-8026 石川県金沢市糸田新町1-30

市従労NEWS 金沢市従労

注目 フラスチック製品の分別回収!!

コロナ生活が3年余りの長きにわたって続き、ごみ排出量にも大きく影響(変化)も与える中で、金沢市における家庭ごみに関しても『ごみ袋有料化』がスタートした平成30年2月から5年以上が経過し、昨今では国における法改正「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」等が令和4年4月に施行されており、海洋プラスチックごみ問題や気候変動問題等による『プラスチック』における資源循環を一層促進する重要性が、世界規模で高まりつつある中で、ごみ処理に関する社会情勢の変化に適した対応を考える上で『プラスチック製品』の分別回収(リサイクル)等も含めた「ごみ処理量」「組成調査」の結果等を踏まえた計画(第7期ごみ処理基本計画)を、令和2年2月に第6期ごみ処理基本計画を策定してから、今回は1年前倒しで金沢市廃棄物総合対策審議会ならびにパブリックコメント等を通して、早急に計画策定に取り組む旨を 村山卓 市長が発表されています。

地球規模で直面している環境問題への解決に向けた『限りある資源を守る取り組み』『将来世代への負担軽減』を全国各地(東京都・京都市・仙台市・藤枝市・松本市・飯田市・稲城市・中津市...)でも「プラスチック製品」の分別回収が令和5年4月からスタートしている地域もあり、今まで「燃やすごみ」として排出されていたプラスチック製ごみ(容器・包装[㊦]以外のプラスチック製ごみ)を資源ごみ用指定袋に容器・包装[㊦]類と一緒に入れてステーションに排出することになります。㊦「プラスチック素材:100%」に限る!!... 大きさによっても異なります。



日本では、循環型社会形成推進基本法において「循環資源」の循環的な利用・処分の優先的順位を決めており、

①:発生抑制 ②:再使用 ③:再生利用 ④:熱回収 ⑤:適正処分(埋立)

となっています。現在は、ゼロカーボンシティの実現や最終処分場の延命化を目指すことを各自治体が進めています。『プラスチック』については、現代の社会においては必要不可欠な「素材」である一方で、2050年のカーボンニュートラルおよび新たな海洋汚染等を“ゼロ”にまで削減することを目指す『大阪ブルー・オーシャン・ビジョン』の達成も含め、プラスチックを取り巻く様々な環境問題に対応するには『プラスチックの資源循環』を加速させ、循環型社会へと移行していくことが重要であります。

<大阪ブルー・オーシャン・ビジョン>

2019年6月に開催された『G20大阪サミット』において、日本は2050年までに「海洋プラスチックごみ」による追加的な汚染を“ゼロ”にまで削減することを目指すことを提案し、他国や国際機関等にもビジョンの共有を呼び掛け、2021年5月までで87の国と地域が共有しています。

プラスチック製品の設計→排出→回収→リサイクルに至るまでを、そこに関わる事業者・自治体・消費者が取り組む真剣な姿勢こそが全ての鍵を握っています。今まで『可燃ごみ』となっていた「プラスチック製品」が資源へと... 多種多様な「ジャンル」のプラスチック製品が対象となり、さらに分別(分け方・出し方)が複雑に感じるのかも!?

「指定袋」や「ごみ処理券」を購入しないと回収(収集)されない!! ~ごみ有料化における課題(問題)点~

重要 Point 珠洲で震度6強の地震 & プラスチック製品の分別回収

珠洲に震度6強の地震が襲う!!

5月5日:午後2時42分に石川県能登地方を震源とする『マグニチュード6.5』の規模を誇る地震が起き、震源に近い珠洲市で「震度6強」を観測しました。

2007年3月25日に起きた『能登半島地震』以来、石川県での震度6強の揺れを観測したのは約16年ぶりになります。当時、輪島市等で約3万棟近くの住宅被害が出て1名が亡くなっています。

能登での地震は、これまでも2021年9月16日に『マグニチュード5.1』(最大震度5弱)、2022年6月19日に『マグニチュード5.4』(最大震度6弱)および震度5弱の地震が発生しており、ここ数年(2020年12月頃~)での地震活動は活発化しており、震度1以上の地震は300回を超えていて、何故か? 珠洲市付近に集中しているのが特徴的と言えます。

5月に入り、大きな地震は北海道(浦河・幕別)で震度4、鹿児島(十島村)で震度5弱、青森(東通村)で震度4、千葉(木更津市)で震度5強など、全国の別の場所でも地震が頻発に起きています。

今回の地震で、5月11日の時点で重軽傷者は30人以上となり、住宅の全半壊が約30棟、一部破損は約600棟に及んでおり、はしごから転落した1名が亡くなっています。

- 震度6強→ 珠洲市
- 震度5強→ 能登町
- 震度5弱→ 輪島市
- 震度4 → 金沢市、新潟県上越市、新潟県長岡市、富山県高岡市、福井県あわら市



地震は、ある日 突然に襲ってきます!! 全く予想も付きません!!

だからこそ、日頃からの備えが肝心と言えます!!

◎ 家具の転倒や移動に注意しながら、机の下などの安全な場所で身を守る行動を心掛けましょう!!

◎ 屋外に居る場合には「割れたガラス」「ブロック塀」や「看板」「屋根瓦」等から離れ、すぐに自身の頭を守りましょう!!



◎ 自動車運転中は、慌てずに「急ブレーキ」や「急ハンドル」「急な進路変更」は避け、緩やかなスピードで周囲を確認しながら、道路の左側にクルマを停止し、鍵は付けたままにし、周囲の状況を見ながら行動しましょう!!



金沢最大級の大イベント!!

第72回 金沢百万石まつり

開催日程:2023年6月2日(金)~4日(日)

毎年6月に開催される『金沢最大級の大イベント!!』として、加賀藩祖・前田利家が金沢城に入城したのを記念したメインイベントとなる絢爛豪華な「百万石行列」は、日本全国・海外からも多くの人達が見物に訪れ、金沢の玄関口である金沢駅東広場の鼓門前を出発し、石川門から金沢城に入城するまでの約4時間に及ぶパレードが繰り広げられます。

金沢百万石まつりは6月2日から3日間にわたり開かれ、うち「百万石行列」は2日目の6月3日に行われます。

毎年、有名俳優(女優)さんが 前田利家公 および お松の方役に扮して、沿道を華やかに盛り上げてくれます。

その今年の利家役には歌舞伎俳優の市川右團次さん、利家の正室お松の方役には女優の紺野まひるさんが務められます。第72回金沢百万石まつりにおける、新型コロナウイルスの感染防止対策として「手洗い」「着替え場所の換気」「体調管理の徹底」などを促し、行列参加者にはマスク着用は求めず、演技回数は昨年より1回増やし、コロナ前と同じ5回とする。基本的な感染対策は徹底した上で『まちなかの賑わい』に繋げる。また、肖像権の保護を理由に昨年は禁止していた主役(俳優・女優)に関する写真撮影やSNSへの投稿についても、所属事務所側の了解が得られており、物議を醸す結果になった昨年とは一味違った、より深い瞬間や感動を記録・記憶に残せる寛大な体制となっています。百万石まつり実行委員長を務める山田啓之副市長からは「今年は新型コロナウイルス禍以前の規模で開催ができ、海外の観光客も含めた多くの人達に金沢の文化に触れてほしい」と発表されています。

~天災は忘れた頃にやってくる~ 揺れの『不安』と『恐怖』の日々 能登に1日も早い復興を!!